

【参考（記入例）】 架け橋期のカリキュラム



	0歳~	5歳児											小学1年生												
時期		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
① 期待する子供像	<p>【「小中一貫・連携教育」における目指す児童生徒像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来に目を向け、自ら学ぼうとする児童生徒 ・自他の命や心を大切にする児童生徒 ・認め合い、励まし合い、高め合う児童生徒 																								
	<p>幼児期の終わりまでに育ってほしい姿</p> <p>(1) 健康な心と体 (2) 自立心 (3) 協同性 (4) 道徳性・規範意識の芽生え (5) 社会生活との関わり (6) 思考力の芽生え (7) 自然との関わり・生命尊重 (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (9) 言葉による伝え合い (10) 豊かな感性と表現</p>																								
	☆園において期待する子供像 ・明るく元気な子供 ・勇気のある子供 ・心豊かな子供											☆学校において期待する子供像 ・考える子 ・思いやる子 ・つながる子													
② 遊びや学びのプロセス	1 友達と積極的に関わりながら遊びを進める			2 友達と共通の目的をもちながら遊ぶ			3 友達と協同して遊びを進める			思いや願いをもつ → 活動や体験をする → 感じる・考える → 表現する・行為する															
③ 園で展開される活動／小学校の生活科を中心とした各教科の単元構成等	・夏野菜栽培（苗選び、水かけ・支柱立て、収穫した数を数える等） ⇔ (2) (7)			・さつまいも収穫（収穫した芋の大きさを比べ、数える。絵を描く等） ⇔ (7) (8) (10)			・冬野菜 ⇔ (3) (7) ・次年度に向けた栽培（カレーパーティー） ⇔ (5) (6) (9)			・はなややさいお おきくなってね ⇔ (2) (7) (10) ・はなややさいが もっとおきくなったよ ⇔ (7) (8) (9)			・たねやみになったよ ⇔ (3) (7) (10)												
④ 指導上の配慮事項（環境の構成、保育者・教師の援助）	○主体的な遊びができるような環境構成 ○一人一人の良さを「認め、ほめ、励まし、伸ばす」保育											○幼児期の経験や思いを大切に子ども成長につなげる。 ○個人の発言を全体に問い返し、学級全体で思いを高めていく。 ○子供の豊かな体験を保障し、徐々に学習対象を広げる学習展開とする。 ○教科書学習ではない諸感覚を活用した体験を充実させる。 ○授業内のみならず日常生活に根差した継続的な活動として展開する。													
⑤ 子供の交流	○年少児のお世話（年長児としての自覚、自信につながる）			○稚児相撲 ○幼保交流活動			○小学校施設体験（校庭で遊ぶ）			○幼保との交流（かぼちゃの種をもらう等）			○近隣幼保との交流			○体験入学時の交流									
⑥ 家庭や地域との連携	○あさひ園（七夕の笹竹）			○ヘルスマイト（月見団子） ○もちつき（保護者や祖父母）			○今までお世話になった人へのペンダント作り			○日常的な連携 ○授業参観、家庭訪問、行事の協力			○日常的な連携 ○授業参観、行事の協力、PTA活動（親子レクレーション）			○日常的な連携 ○授業参観、行事の協力									

